

suGATALOG: ユーザの姿を利用したコーディネート発見支援システム

佐藤 彩夏[†] 渡邊 恵太^{††} 安村 通晃[†]

suGATALOG: Fashion Coordinate System Using User's Appearance

AYAKA SATO,[†] KEITA WATANABE^{††} and MICHIAKI YASUMURA[†]

1. はじめに

服を着替えることは毎日の行為であり、服のコーディネートに悩む人にとって悩みの種である。服装を選ぶ時、合いそうな組み合わせで服を選び、試着する。しかし、選んだ服を実際に着てみると、イメージと異なる場合がある。すると、他に合いそうな服に着替え直し、納得がいくまでこれを繰り返す。また、着替え直すことは手間がかかるため、合いそうだと頭の中で想像したコーディネートしか試さないことが多く、いつも似たような服装になりがちである。

ファッションコーディネート支援の先行研究に、長尾らによる服の写真を用いたコーディネートのレコメンドシステムがある¹⁾。また、SONY社のPSPソフトMy Stylist²⁾は所有する服を撮影し、それらの写真を組み合わせてファッションコーディネートを行うゲームソフトである。これらは服だけの写真を用いてコーディネートを行っているため実際の着用イメージが沸きづらい。服の撮影もしなくてはいけないため、手間がかかる。

そこで本研究は、ユーザが手軽にさまざまなコーディネートを、ユーザが着用した姿で行えるファッションコーディネート支援システムsuGATALOG(スガタログ)を提案する³⁾。本論文では、特にユーザへのファッションコーディネートの提示に焦点を当てる。

2. suGATALOG

suGATALOGとは、日常生活の服の試着時や、外出時のタイミングを利用して撮りためた「ユーザが服を着用した写真(姿)」を活用した、ファッションコーディネート支援システムである。suGATALOGは、ユーザの姿の写真をトップスとボトムスの2つに切り分けて、それらを組み合わせることでファッションコーディネートのシミュレーションを行うことができる。図1は、実際にsuGATALOGを使って合成した写真である。これにより、ユーザは服を着替えることなく実際に着用しているかのようなシミュレーションが行える。

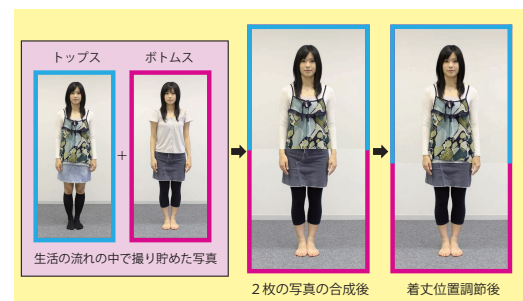


図1 suGATALOGによるファッション合成例
Fig.1 An example of fashion coordination by suGATALOG

suGATALOGの特徴

suGATALOGには次の3つの特徴がある。

(1) ユーザの姿を利用したシミュレーション

suGATALOGは、ユーザが過去に服を着用した時の写真を利用してコーディネートシミュレーションを行

[†] 慶應義塾大学 環境情報学部

Faculty of Environment and Information Studies, Keio University

^{††} 慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科

Graduate School of Media and Governance, Keio University

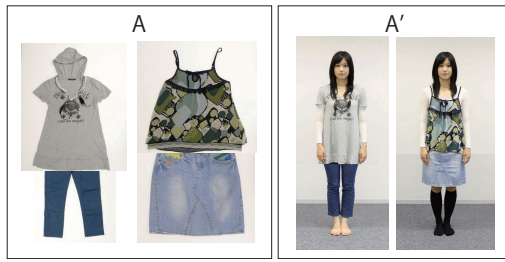


図 2 (A) 服だけの写真によるコーディネート
 (A')suGATALOG によるコーディネートとの比較
 Fig. 2 (A)Coordination image by only cloth photos
 (A')Coordination image by suGATALOG



図 4 コーディネート自動生成機能の例
 Fig. 4 Example of Auto Coordination function



図 3 suGATALOG のスクリーンキャプチャ
 Fig. 3 Screen capture of suGATALOG

う。図 2 は、同じ服を用いて、服だけの写真を合成した写真と suGATALOG で合成した写真とを比較した図である。この図から、服だけの組み合わせでは着用イメージと大きく異なることが分かる。また、服によって丈が異なるため、suGATALOG では丈の調節が行える。図 1 は、着丈位置を調節する前と後とを比較した図である。着丈を調節するだけで、実際に服を着たイメージにより近付けることができる。

(2) 服装を並べて比較

服の組み合わせに迷い、何度か服を着替え直した場合、最終的に一番良かったと思う服装を選ぶ。その際、服を着用したときの記憶をたよりにするため、曖昧な選択しかできなかった。suGATALOG では、合成した写真を並べて服装の比較リストを作成することができる(図 3)。比較リストがあることで、複数の服装を並べて比較をすることができる。

(3) コーディネート自動生成機能

コーディネート自動生成機能とは、トップスかボトムスの一方の服を選ぶともう一方の服を自動で生成することができる機能である。たとえば、トップスとボトムスを各 8 着ずつ持っていた場合、上下の組み合わせは 64 通りある。所有する服が多いほど、すべての服の組み合わせを試すことは困難である。また、何度も

着替え直すことを避けるために、合うと予想した組み合わせしか試さないため、もしかしたら合うかもしれないコーディネートを試すチャンスが失われる。図 4 は、この機能を使い、左上の写真を元にボトムスを固定したコーディネートを自動で生成したリストである。このように、今までに試したことのないコーディネートを一瞬で一覧できるため、ユーザが試したことのないコーディネートも作成される。

3. まとめと今後

本研究では、ユーザの姿を利用したファッションコーディネートシミュレーションを行うシステム suGATALOG を提案し試作した。suGATALOG は、生活の流れの中で撮影を行い、画面の操作だけでコーディネートシミュレーションが行える。そのため、ユーザは服を着替えることなく、手軽にさまざまなコーディネートを試すことができる。また、コーディネート自動生成機能では、一瞬で合成した写真を一覧することができる。これにより、ユーザは今までに試したことなかったコーディネートを発見することができる。さらに、合成した写真を並べて比較できることで、今まで記憶を頼りにして曖昧だった比較が確実になった。このように、suGATALOG では、所有する服の数に関係なく、手持ちの服で最大限にファッションコーディネートを楽しむことができる。

参考文献

- 1) 長尾 聡, 高橋 伸, 田中 二郎, 過去の行動から服のコーディネートを紹介する鏡状アプリケーション, ヒューマンインタフェースシンポジウム 2007 論文集 (CD-ROM), September 2007.
- 2) <http://www.jp.playstation.com/scej/title/mystylist/>
- 3) 佐藤 彩夏, 渡邊 恵太, 安村 通晃, suGATALOG: ユーザの姿を利用したファッションコーディネート支援システム, WISS2008, November 2008.